

「人見知いがない」と思ったら？



なぜなの？

【人見知りとは】

6～12か月頃に身近な人と見慣れない人の違いがわかり、特定の人への愛着が育ってくる成長過程のひとつ。

- ・ 特定の人への愛着がまだ十分育っていないため、特定の人でもそれ以外の人も同等に感じ、みんな友だちと思っている。(対応方法①③④⑤)
- ・ 目の前にいる人や物に瞬間的に反応してしまい、急に話しかけたり、抱きつく。(対応方法②③④⑤)

社会的で人とすぐ打ち解けることができ、緊張もあまりしないため、より楽しい時間を過ごせる力がありますね！



どうしたらいい？(対応方法)

- ①子どもが楽しめる遊びを一緒にじっくり楽しもう。
(「大人と遊ぶのって楽しい！もっと遊びたい！」の気持ちが満たされ積み重なると「この人が大事」という愛着が育ちます)
- ②生活の中で、考える・待つ・選ぶなどの「間」を取り入れよう。
- ③子どもから目を離さないようにしよう。
- ④ルールを決め、子どもが突然知らない人に行くなどの行動を事前に防ごう。
(例：「ここではお母さんと手をつなごうね」)
- ⑤日常生活の中で、相手の気持ちや社会のルールを教えよう。
(例：「突然抱きついたらびっくりするよ」「一緒に遊ぼうと言ったらいいよ」)

ポイント伝えたいときは、そばによって目を見て話そう。

(人は相手が何を自分に伝えようとしているか目でみて判断します)



困ったり迷ったりしたら、いつでも相談してくださいね。

三原市こども安心課	電話0848-67-6061
本郷保健福祉センター	電話0848-86-3609
久井保健福祉センター	電話0847-32-8551
大和保健福祉センター	電話0847-34-0960